



わたしたちのころをあいのおこないでいっぱいにしましょう

あなたがたのとみのあるところに、あなたがたのころもあるのだ。
(ルカ 12・34)



りょうをするときは、にもつをちゅうしてじゅんぶんします。たくさんもっていかねばなりません。たしじなものえらびます。わたしたちのいきかたも、なにかがえしをえらぶことができます。



イエスさまはてんからきたので、そここゝにはなにかがみつようかしています。かれといっしょにとみはいりません。なにをたべるか、いみふくをきるかではなく、わたしたちのあいのおこないをいっぱいにしてもらいます。



イエスさまのために、にもつをじゅんぶんします。おもちゃをいっしょにつかったり、キャラメルをあげたり、てんごくからをつみましょう。イエスさまはうでしう。「あなたがたのたからがあるところにわたしたちのころもある」と。



ぼくはマルコ、7さいです。なつになんにちかのあいだ、おじいちゃんのとこにいります。あるひとつもいいこにしていたので、ぼくをさんぽにつれていってくれておじいちゃんはいすをかってくれた。



おじいちゃんたちはいすにすわっておしゃべりをはじめた。ぼくはすわってアイスを食べようとして、めをあげると、ぼくのまえでいさゝかぼくをみていた。



とってもいさゝかした。すぐたべようとおもったけど、ぼくはイエスさまをおもひました。「わたしにくれな」とぼくはアイスをおもひました。とってもうれしかった。とってもかんなったようにかんじた。イエスさまに、にもつをプレゼントしたよ！